

令和２年度 明正小学校 外部評価報告書
評価委員：谷島 豊、押田まり子、河野祥多、樫本美穂、広井良典 報告書作成者：副校長 長井順
評価時期 令和３年２月
１ 重点目標の評価 重点目標１について 評価指標「児童は状況に応じたあいさつをしているか。」は、教員の約半数が「ややあてはまらない」と回答している。児童の自己評価との乖離が見られるが、先生達が理想としているあいさつと子どもたちがあいさつとして行っている行為に相違があるのかもしれない。評価指標「児童は異学年交流や…」については、今年はコロナ禍のせいでイベントが中止、縮小していることを考えると、特に問題はないと考える。 重点目標２について おおむね高評価であり、コロナ禍の中で工夫して取り組んだことが理解できる。今後とも益々充実してほしい。 重点目標３について おおむね良好と言える。来年度からのタブレット端末の配布を見据えて、具体的な使用方法等が見える化し、今後の指導につなげてほしい。 ２ 今後の改善に向けた意見 児童アンケートで「先生達は困ったことがあったときに話しやすいですか」の問いに対し、肯定的な評価が６９％だった。保護者向けのアンケートでは、肯定的な評価が８０％だったことから、学校自体の体制としてはしっかりしているものと推察できる。今年度はコロナ禍のせいもあり、多くの学年で些細なことも含め課題が多かったと思う。教職員の忙しさが起因しているとも推察するが、大きな問題になる前の小さな悩み等々への一層親身な対応を期待する。 ３ その他の意見 ・保護者アンケートで行事や地域との交流について「分からない」が多かったが、来年以降もこの数値が続くようであれば、情報発信について改善の必要があるのかもしれない。 ・外部評価委員としてアンケートに参加するものの、学校生活が見えない部分もあることから、外部評価委員向けの学校見学会を開いていただければより実態に合った評価ができるのではないかと。 ・このアンケートを機に、児童と学校のかかわりについて更に興味を持たれる保護者が増えるとよいのでは、と思う。